

ボウリング競技実施要領（知的）

1. 競技規則

令和6年度に適用の全国障害者スポーツ大会競技規則（（公財）日本パラスポーツ協会制定）及びボウリング競技規則（（公財）全日本ボウリング協会制定）によるもののほか、この要領に定めるところによる。

2. 競技方法

- （1）試合の方法は、シングルレーン（同一レーンで投球）方式で行う。
- （2）競技は全てスクラッチ（ハンディなし）2ゲームとし、その合計得点より順位を決定する。（同点の場合は、規定に基づきゲームローハイにて決定する）
- （3）順位は、男女別、年齢区分別、組別に決定する。
- （4）隣り合ったレーンで、同時に投球姿勢に入った場合は、右側レーンの選手を優先する。
- （5）競技に使用できるボールは、現行規則に適合するもののほか、令和2（2020）年8月1日改訂以前の規則に適合するものも使用可能とする。

3. 競技服装等

- （1）服装はボウリング競技を行う上で支障のないものを着用する。
- （2）ソックスを必ずはくこと。
- （3）番号布（ゼッケン）は主催者の交付したものを、競技服の上着の背部に付けること。

4. 招集

- （1）招集は各ボウラーズベンチで行う。招集完了は競技開始時間の10分前とする。招集完了時刻に遅れた選手は棄権したものとみなす。
- （2）競技時間は、進行の都合により変更になる場合があるので、放送や係員の指示に十分注意すること。
- （3）シフトにより競技時間の変更の場合（放送で案内）も、競技開始時間の10分前には指定されたボウラーズベンチに集まること。いない場合は、棄権したものとみなし、競技に出場できない。
- （4）招集時にはボール（ハウスボールの場合は所定の位置から選び、競技終了後は元の場所に返却）の準備、シューズも履き替えておくこと。

5. 表彰

- （1）競技終了後、各組ごとにおこなう。
- （2）表彰が終わるまでベンチを離れてはならない。

6. その他

- (1) 選手は、競技中ボウラーズベンチを離れてはならない。やむを得ず離れる場合は、必ず係員に申し出ること。
- (2) ボウラーズエリアへ入れるのは、選手・役員・大会運営者に限る。
- (3) 競技会場のハウスシューズを使用する選手は、参加申込書に記入し、申し込みをすること。ハウスシューズの使用料金は、実費とする。
- (4) ボールを拭くタオルは、選手自ら用意すること。